令和４年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）

（最終変更　令和4年3月29日）

□進捗評価シート（様式１）

①組織体制（様式１－１）
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式１－２）
1 景観形成助成制度の啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）
1 史跡整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2 重要文化的景観保存事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3 歩道整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4 無電柱化事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5 観光サイン等整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6 建物修景助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
7 屋外広告物助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
8 宇治茶園支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
9 宇治茶品質向上事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
10 宇治茶普及啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
11 市営茶室対鳳庵活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
12 宇治川鵜飼助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
13 宇治十帖スタンプラリー開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
14 京の七夕inUji ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
15 文化財見学会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
16 歴史・文化啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
17 文化的景観整備計画策定調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
18 観光交通対策検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
19 空き町家の活用検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
20 観光周遊道路の整備検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）
1 文化財の修理（整備を含む） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2 文化財の防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
3 文化財の保全及び活用の普及・啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
4 埋蔵文化財の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
5 文化財の保存・活用に関わる
住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備 ・・・・・・・・ 27

⑤効果・影響等に関する報道（様式１－５）
1 街を駆ける　清めの儀式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
2 かがり火揺れる　夏の涼 ・・・・・・・・ 29
3 名勝『宇治山』を保存・活用　来年度に計画案作成へ ・・・・・・・・ 30
4 歴史まちづくり計画認定 ・・・・・・・・ 31

□法定協議会等におけるコメントシート（様式２）

進捗評価シート　（様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

今期は、コロナウイルス感染症の影響がやや落ち着いていたため、対面開催することができた。

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価及び第2期計画の方向性について、意見を聞くことができた。
協議会の中で第2期計画の初案を固め、年度末には国の認定を受けることができた。

【定量的評価】
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数　：　3回

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後も引き続き、協議会を開催し、計画の進捗管理を行うとともに、計画の変更・追加の際にも協議会の意見を伺うものとする。

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
令和4年6月29日	第1回歴史的風致維持向上協議会	【内容】 1　報告 （1）歴史的風致維持向上計画の変更認定について 2　議事 （1）歴史的風致維持向上計画の令和3年度の進捗評価について （2）第2期歴史的風致維持向上計画の策定について
令和4年11月30日	第2回歴史的風致維持向上協議会	【内容】 1　報告 （1）歴史的風致維持向上計画の最終評価について 2　議事 （1）歴史的風致維持向上計画（第2期）の初案について
令和5年3月3日	第3回歴史的風致維持向上協議会	【内容】 1　議事 （1）歴史的風致維持向上計画の最終評価について （2）宇治市歴史的風致維持向上計画（第2期）の進捗状況について

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
景観形成助成制度の啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

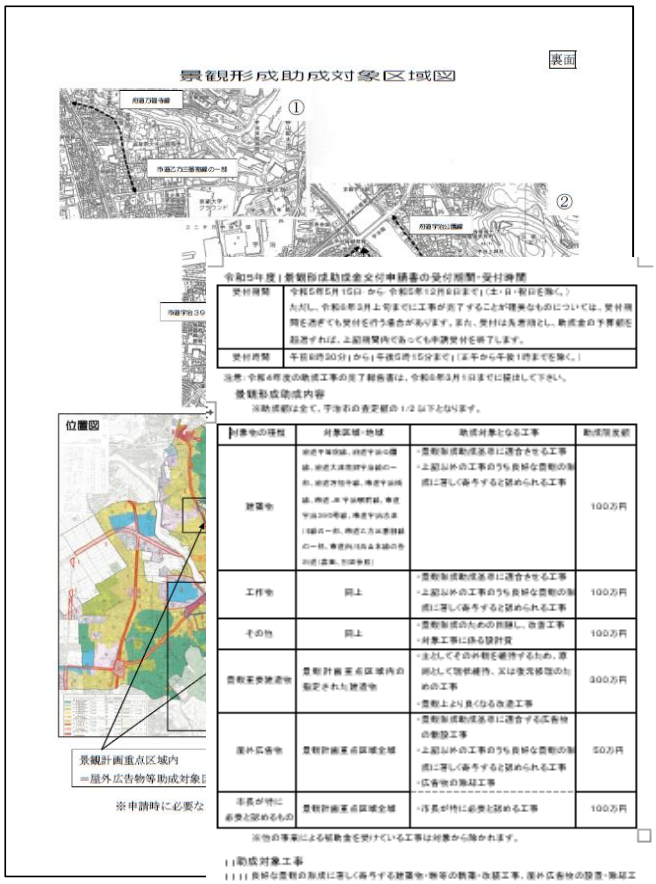
屋外広告物を改善し、まちなみを演出しませんか？

屋外広告物について、デザイン・色彩、材料等を周囲に調和するように整え、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成します。

《対象工事》屋外広告物の設置、除却等に係る経費及び設計費等で、著しく景観に寄与するもの（年度内に完了し、年度内に検査を受けられるものに限る）《対象区域》景観計画重点区域《交付額》工事費の2分の1以下（限度額50万円）《補助件数》予算額の上限に達するまで（先着順）《申請書等》5月16日（月）～12月9日（金）（応募の可能性有り）に、歴史まちづくり推進課窓口へ。

※詳しくは、同課へ問い合わせるか市ホームページを確認してください。

市政だよりによる記事



裏面

景観形成助成対象区域図

①

②

令和5年度 | 景観形成助成金交付申請書の受付期間・受付時間

受付期間	令和5年5月15日（月）から 令和5年12月8日まで（土・日・祝日を除く。） ただし、令和6年3月上旬までに工事が完了することが確実なものについては、受付期間を過ぎても受付を行う場合があります。また、受付は先着順とし、助成金の予算額を超過すれば、上記期間内であっても申請受付を終了します。
受付時間	午前8時30分（から）午後5時15分まで（正午から午後1時までを除く。）

注意：令和4年度の助成工事の完了報告書は、令和6年3月1日までに提出して下さい。

景観形成助成内容

※助成額は全て、宇治市の査定額の1/2以下となります。

対象物の種類	対象区域・地域	助成対象となる工事	助成限度額
建築物	宇治平等院線、宇治平等院線の一部、宇治大橋宇治駅前線の一部、宇治市役所線、宇治平等院線、宇治一番橋野線、宇治平治200号線、宇治平治志津川線の一部、宇治八方山黒田線の一部、宇治川沿岸未舗装の各沿道（道路、市河川敷）	・景観形成助成基準に適合させる工事 ・上記以外の工事のうち良好な景観の創成に著しく寄与すると認められる工事	100万円
工作物	同上	・景観形成助成基準に適合させる工事 ・上記以外の工事のうち良好な景観の創成に著しく寄与すると認められる工事	100万円
その他	同上	・景観形成のための撤去、改造工事 ・対象工事に係る設計費	100万円
景観重要公共施設	景観計画重点区域内の指定された施設	・法としてその外観を維持するため、原則として現状維持、又は復元修理のための工事 ・景観上より良くなる改造工事	300万円
屋外広告物	景観計画重点区域全域	・景観形成助成基準に適合する広告物の新設工事 ・上記以外の工事のうち良好な景観の創成に著しく寄与すると認められる工事 ・広告物の撤去工事	50万円
市長が特に必要と認めるもの	景観計画重点区域全域	・市長が特に必要と認める工事	100万円

※他の事業による補助金を受けている工事は対象から除かれます。

位置図

景観計画重点区域内
＝屋外広告物等助成対象

※申請時に必要な

助成対象工事

良好な景観の創成に著しく寄与する建築物・塀等の新築・改築工事、屋外広告物の設置・撤去工事、対象工事の設計費等で宇治市の基準（景観形成助成基準）に適合するもの

提出書類

・景観形成助成金交付申請書 ・設計図書 ・工事費等見積書 ・着工前の写真・消費税等仕入控除税額明細書・その他市長が必要と認める書類

助成対象区域で配布した啓発チラシ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
史跡整備事業	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～令和4年度
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
計画に記載している内容	壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促す。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。
Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。 Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。
令和4年度は、解説案内板の設置等の公園施設の整備を行った。

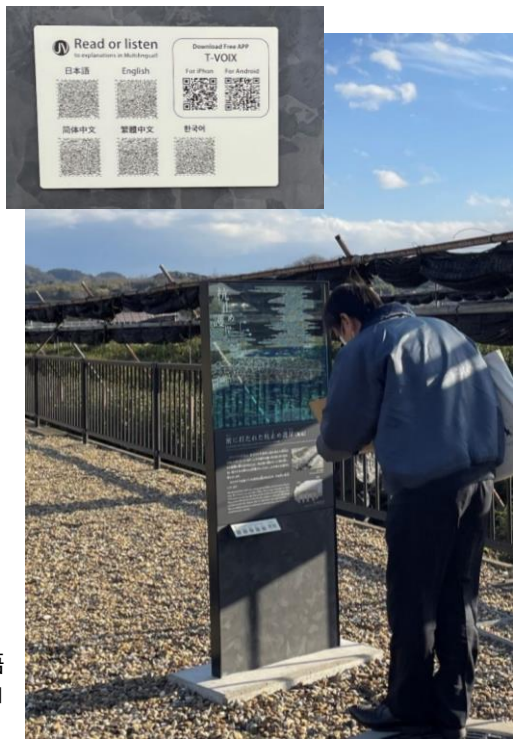
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

Aゾーンの整備

Bゾーンの整備

遺構の解説板の新設



既存の解説板に多言語解説のQRコードを追加

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
重要文化的景観保存事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

今年度、重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素の建物修理を3件実施した。
上林家住宅長屋門屋根葺き替え事業　喫茶あじろ屋根修理事業　寺川家土蔵外壁補修事業
【定量的評価】
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：3件

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要構成要素の修理事業については、所有者の意向を把握し、適切な事業実施に向け、調整しながら進めていく。

状況を示す写真や資料等

上林家住宅長屋門

屋根　葺き替え前

屋根　葺き替え後

喫茶あじろ　屋根　修理前

屋根　修理後

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
歩道整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成21年度～令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、市道菟道志津川線門前工区で一部区間を拡幅し、歩道を整備した。市道菟道志津川線谷下り工区ではJR奈良線大鳳寺踏切及び歩道の拡幅整備工事が完成した。

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市道菟道志津川線（門前工区）

整備前　（令和元年10月）

整備後　（令和5年3月）

市道菟道志津川線（谷下り工区）

整備前　（令和3年3月）

整備後　（令和5年3月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況
無電柱化事業	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	～　令和3年度
支援事業名	地域自主戦略交付金 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	道路の無電柱化を行い道路景観の改善を行うことにより、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和3年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化工事を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【位置図】

【整備前】（平成30年1月）

【整備後】（令和4年3月）

無電柱化に取り組むことで
伝統的な沿道景観との調和や道路景観の
改善を図る。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
観光サイン等整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

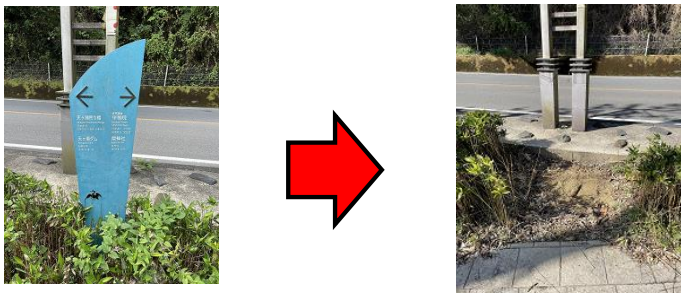
事業期間	平成29年度～令和4年度
支援事業名	観光振興事業費補助金
計画に記載している内容	宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的町並み等を回遊しやすい環境を整備するため、観光サインや観光トイレの再整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

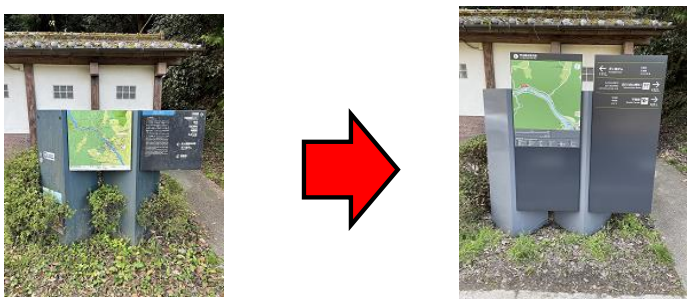
宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、令和4年度はJR宇治駅周辺・白川周辺・三室戸周辺・黄檗周辺において、新設9基、リノベーション10基、撤去26基の対応を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	補助事業に基づく財政措置を行っており、国・府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。

状況を示す写真や資料等



観光案内サインの撤去（令和5年2月）



観光案内サインのリノベーション（令和5年2月）

観光案内サインの新設（令和5年2月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
建物修景助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成22年度 ～
支援事業名	市単独事業費
計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設（道路）の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他（設計費等）について、助成を行うこととしており、令和2年度の申請は2件である。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　申請件数　2件
（参考）令和2年度　　：　申請件数　1件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後も引き続き、助成制度を実施していく。

状況を示す写真や資料等

助成前

助成後
令和4年度実績

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
屋外広告物助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成22年度 ～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、令和2年度の申請は1件である。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　申請件数　0件
（参考）令和2年度　　：　申請件数　1件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後も引き続き、助成制度を実施していく。

状況を示す写真や資料等

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
宇治茶園支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】

伝統技術継承対策事業の実施件数　：　15件（247．6a）

「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は令和元年度15件（247．2a）、令和2年17件（274．3a）、令和3年14件（244．6a）と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。

手摘み茶推進対策の実施件数　　：　30件

手摘みを継続していくためにはお茶摘みさんの確保が必須であるが確保するのが厳しくなってきており、平成27年度以降実施件数が30件程度で推移しており、手摘みを継承していきたい茶業者の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況
（撮影日：令和4年4月15日）

手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」募集広告
洛タイ新報（令和4年4月9日土曜日）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
宇治茶品質向上事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

6月9日に宇治市で開催した第55回宇治市茶品評会、8月3日から滋賀県で開催された第74回関西茶品評会（式典は11月5日）、8月23日から京都府で開催された第76回全国茶品評会（式典は11月19日）への出品を支援した。
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高め、宇治茶の伝統的茶製法の継承につなげることができた。

【定量的評価】
茶品評会入賞数／出品数　：　50点受賞／149点

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

全国茶品評会
（令和4年11月19日）

関西茶品評会
（令和4年11月5日）

品評会の実施状況

	第76回全国茶品評会	第74回関西茶品評会	第55回宇治市茶品評会
出品数	60	44	45
優等数			2
1等賞	6	3	4
2等賞	5	5	5
3等賞	8	9	3
農林水産大臣賞	受賞	受賞	
産地賞	受賞	受賞	

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
宇治茶普及啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

市民茶摘みのつどいは、事前申込制で参加者を200名に限定して開催した。
宇治茶まつりについては、全国お茶まつり消費拡大イベントが宇治市で開催となったため、今年度の開催は見送られた。
市民素人茶香服大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかった。

【定量的評価】
「市民茶摘みのつどい」の参加者数　：　5月8日（日曜日）参加者200名に限定して開催
「宇治茶まつり」の参加者数　：　関係者のみで執り行われた
「市民素人茶香服大会」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	イベント系の事業であるため、コロナ渦における開催方法が課題。 各事業主体等と協議の上、今後の対応について検討が必要。

状況を示す写真や資料等

宇治茶まつり（名水汲み上げの儀）

宇治茶まつり（茶壺口切の儀）

市民茶摘みのつどい

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
市営茶室対鳳庵活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家流・裏千家流・山荘流の3流派による抹茶や、二條流、瑞芳菴流、方円流の3流派による煎茶の本格的なお点前の披露により、茶文化を体験できる機会を創出し、茶業への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月から従来の「抹茶の薄茶」、「煎茶」のみだったメニューに「濃茶と薄茶」、「玉露と煎茶」のセットメニュー及び「お点前体験」のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

また、正門、待合、植栽等の改修工事を行い、令和2年7月1日にリニューアルオープンした。

【定量的評価】

令和4年度の市営茶室でお茶席の利用者数　：　6，077人

（参考）令和3年度　：　2，144人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が激減していたが、外国人を含め少しづつ増えてきている。今後も引き続き、近隣の方も含めた利用者の増加を目指す。

状況を示す写真や資料等

茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門

感染拡大防止対策を実施したお点前の様子

対鳳庵

	入席者数	うち外国人
平成24年度	16,302人	4,889人
平成25年度	14,259人	4,259人
平成26年度	22,335人	6,059人
平成27年度	21,638人	7,198人
平成28年度	21,329人	8,442人
平成29年度	24,792人	11,803人
平成30年度	23,354人	11,858人
令和元年度	18,782人	10,930人
令和２年度	1,908人	58人
令和３年度	2,144人	63人
令和４年度	6,077人	1,316人

対鳳庵体験予約

	濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お点前体験
平成26年度	248人	2人	2人	345人
平成27年度	118人	20人	5人	885人
平成28年度	181人	9人	6人	913人
平成29年度	134人	9人	0人	1,026人
平成30年度	106人	22人	27人	954人
令和元年度	143人	23人	7人	1,191人
令和２年度	15人	13人	0人	53人
令和３年度	14人	13人	1人	59人
令和４年度	53人	58人	5人	273人

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
宇治川鵜飼助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、緊急事態宣言の発令に伴い8月20日～9月30日まで休業したため420人の乗船者に留まったが、令和4年度は32日間の営業で1，210人の乗船があった。

【定量的評価】
鵜飼船乗船者数　1，210人
（休業期間：7/4-7/7、7/11-7/27、8/5-8/10、8/15-8/26、9/1-9/8、9/18-9/30　要因：宇治川の増水および台風）
（参考）令和2年度　0人（新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業できなかった。）
　　令和3年度　420人（緊急事態宣言の発令に伴い営業日数が19日間のみに留まった）
≪うみうのウッティー　孵化・成長≫
平成26年・・・1羽　平成27年・・・2羽　平成28年・・・2羽　平成29年・・・4羽　平成30年・・・0羽
令和元年・・・2羽　令和2年度・・・0羽　令和3年度・・・0羽　令和4年度・・・1羽

放ち鵜飼について、令和3年度にモニターツアーを実施し、令和4年度に「放ち鵜飼＆宇治の魅力体験ツアー」として新たな観光コンテンツとして本格的に実施した。
10月22日（土）萬福寺 普茶料理コース　29人　10月23日（日）興聖寺 座禅コース　中止（最少催行人員に達せず）
11月12日（土）お茶の淹れ方体験コース　16人　11月13日（日）世界遺産巡りコース　11人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後のさらなる集客に向けて、春と秋に放ち鵜飼を実施する。

状況を示す写真や資料等

■鵜飼の様子

■放ち鵜飼の様子

年度	営業日			期間日数	休業日数	営業日数	乗船人数	(内乗合人数)	1日平均（人）
平成25年度	6月15日	～	9月23日	101	18	83	6,700	4,700	80
平成26年度	6月15日	～	9月21日	99	23	76	6,970	4,520	91
平成27年度	6月14日	～	9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
平成28年度	7月1日	～	9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
平成29年度	7月1日	～	9月30日	92	17	75	6,390	3,470	86
平成30年度	7月1日	～	9月30日	92	43	49	4,325	1,965	89
令和元年度	7月1日	～	9月30日	92	53	39	2,635	1,670	68
令和2年度	中止			―	―	―	―	―	―
令和3年度	7月1日	～	9月30日	92	73	19	420	420	22
令和4年度	7月1日	～	9月30日	92	60	32	1,210	820	37

■うみうのウッティー
平成26年6月29日、宇治川の鵜飼で飼育されているウミウに初めてのヒナが誕生した。ウミウは警戒心が強いため、飼育されているウミウの産卵及びふ化は日本で初めてのことである。このヒナはウッティーと名付けられ、鵜飼デビューを果たし活躍し

■人口ふ化で飼育されているウミウ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される

定性的・定量的評価（自由記述）　※定量的評価は可能な範囲で

毎年、晩秋の宇治の風情を楽しみながら『源氏物語』宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

また、令和3年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、スマートフォンを利用するデジタル方式で実施し、開催期間を2ヶ月間とした。

【定量的評価：参加者　5，480人（開催期間61日）】

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■デジタルスタンプラリーのチラシ（第31回）

■デジタルスタンプ　一例

■宇治十帖スタンプラリー参加者数

	開催日数（日）	参加者数（人）
平成25年度	5	16,598
平成26年度	5	17,176
平成27年度	5	17,744
平成28年度	5	17,503
平成29年度	5（内1日中止）	12,674
平成30年度	4	13,146
令和元年度	4	12,008
令和2年度	中止	―
令和3年度	61	5,586
令和4年度	61	5,480

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
京の七夕inUji	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和4年度　～
支援事業名	府・市連携事業
計画に記載している内容	かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような賑わいの創出につながる。

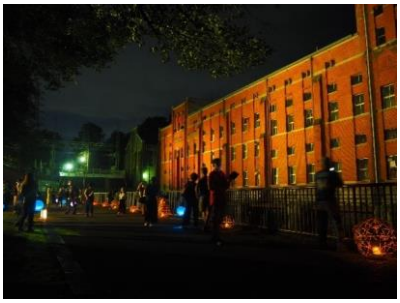
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

宇治オリジナルの夜の演出により、宇治の観光の振興と活性化を図ることを目的として進めてきた「～京都花灯路連携事業～京都・宇治灯り絵巻」の発展のため、”一年に一度、願い事をする”という古くから伝わる七夕の節句の意義や云われを見つめ直し、その伝統を引き継ぎつつ、伝統産業や、和装の振興などの観点も含めた京都ならではの現代版・七夕まつりとして京都各地で開催されている「京の七夕」との融合を図り「京の七夕inUji」構想を推進することにより、さらなる宇治の観光の振興と活性化を図る。

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出と、京都府と連携した「京の七夕」連携周遊事業にも引き続き取り組む。

状況を示す写真や資料等

（令和4年度）
[実施期間]令和4年8月4日(木)～8月11日(木・祝)
[開催場所]府立宇治公園周辺ほか
[イベント内容]
・灯りのみち　　宇治川周辺ライトアップ
・願いがかなう道　　笹飾りと願い事コーナー
・シンポジウム 「五節句文化を次世代に！～七夕に寄せて～」
・夜間特別拝観（興聖寺、萬福寺）
・宇治発電所特別公開
・Instagramハッシュタグキャンペーン
・NAKED　ディスタンス提灯
・各商店街企画（クラフトビール夜市、お茶の香りの演出、灯りの演出、ウッティ塗り絵コンテスト）
[参加者数]
・京の七夕inUji　15,000人
・関連イベント　8,000人



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財見学会	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、小中学生の文化財見学会と文化財感想文コンクールは実施しなかった。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	事業の再開に向けて、関係機関と調整を進めていく。

状況を示す写真や資料等

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
歴史・文化啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助、市単独事業
計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　※定量的評価は可能な範囲で

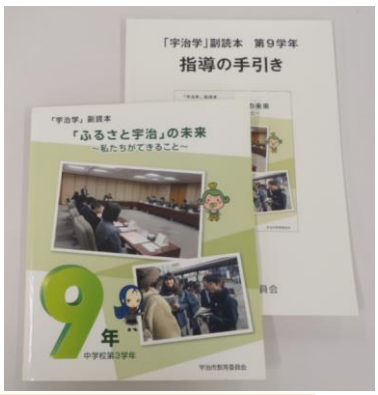
〇「宇治学」（総合的な学習の時間）での探究的・協働的学習をより効果的に実施するため、「宇治学」副読本・指導の手引きを作成配付
【定量的評価】
〇活用充実のための「実践事例」の作成　〇「宇治学」副読本（小学校第5学年・中学校第3学年）の改訂版を市内小中学校32校に配付（貸与）　〇小学校から積み上げてきた「宇治学」の集大成として、中学第3学年では「ふるさと宇治」をより良くすることをテーマに、本市各課の出前授業等を行い、本市への提言【企画提案書づくりとプレゼンテーション】を実施。これらの体験活動をとおして、ふるさとに対する関心を高め、本市への愛着心を醸成している。

〇歴史・文化啓発事業として、宇治鳳凰大学での出前講座を開催した。
【定量的評価】
宇治鳳凰大学出前講座：令和5年1月27日　10:00～11:40　48名

進捗状況　※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

R05/03/6 「防災学習を通して考えた企画」のプレゼンテーション
第7学年 「命 そして『ふるさと宇治』を守る
～私たち中学生としてできること～」 黄檗中学校



R05/03/31　改訂版副読本（小学校5年・中学校3年）の発刊

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③－17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化的景観整備計画策定調査	□実施済 ■実施中 □未着手

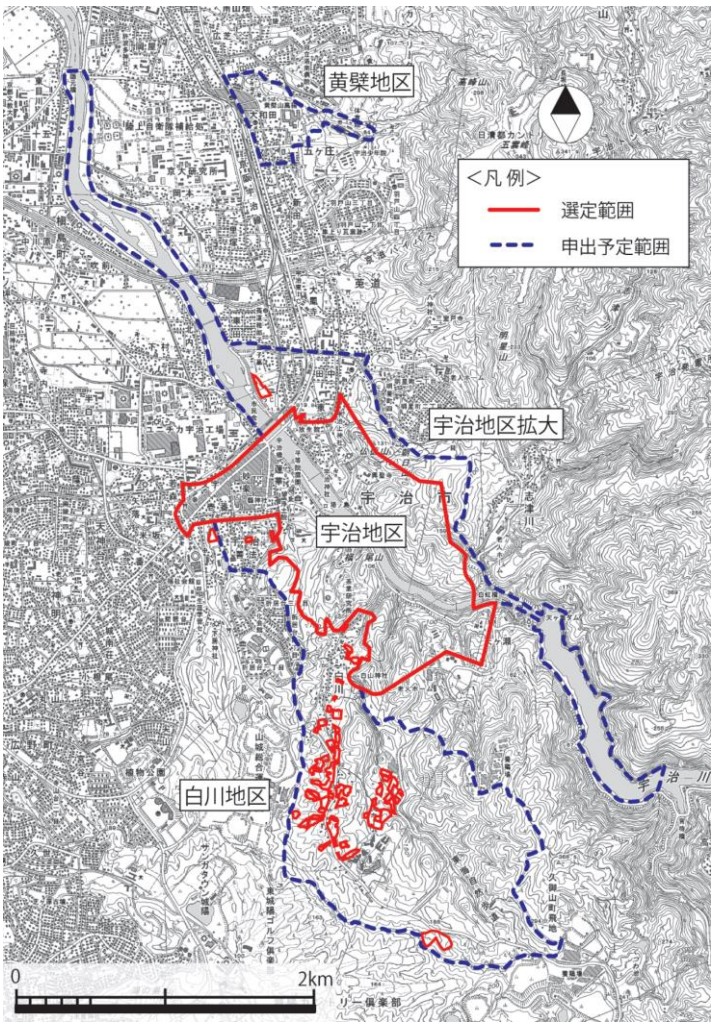
事業期間	～　令和4年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

重要構成要素の追加と選定地区拡大に向けた検討や調整を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要構成要素の拡大については、世代交代により建物を維持していくことに関して見通すことができないという所有者も多く、特に民家の保存についての問題が浮かび上がったが、要望している所有者もあることから、順次要望しているところから拡大していく。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観　選定範囲と拡大予定範囲

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
観光交通対策検討調査	■実施済 □実施中 □未着手

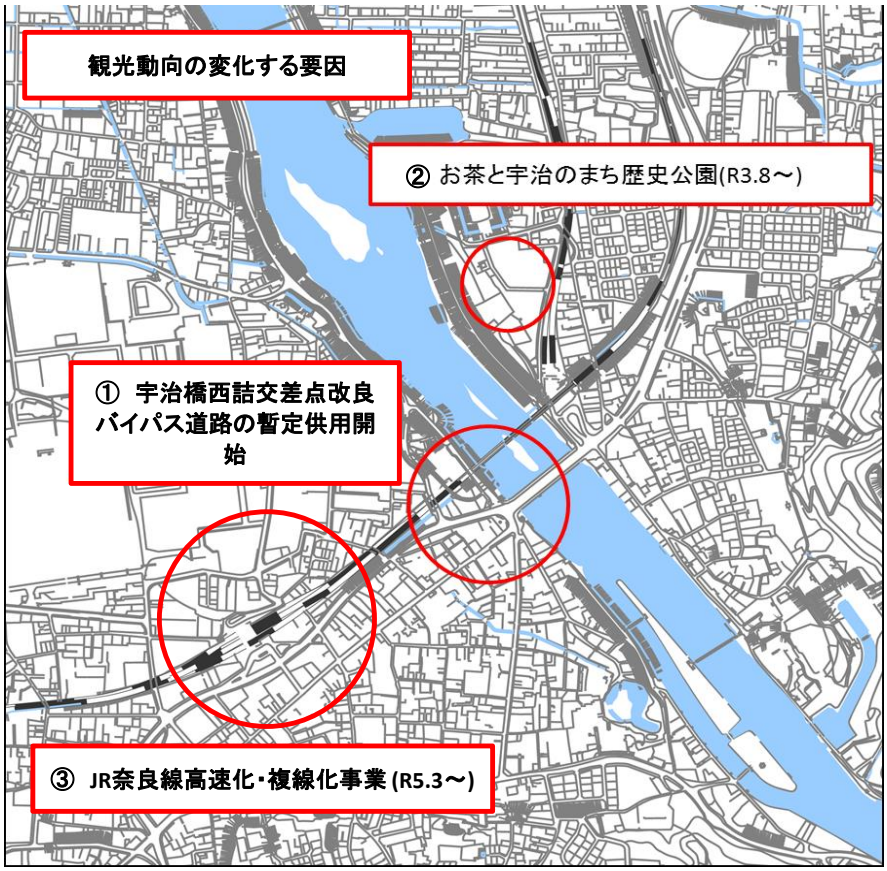
事業期間	平成25年度～令和4年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車での来訪への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

【令和4年度】
平成27年度から周辺駐車場の情報発信や現地での誘導等による効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の調査を実施しているが、新型コロナウイルス感染症による観光動向への影響や、宇治橋西詰交差点の暫定供用、JR奈良線高速化・複線化事業による公共交通機関の利便性向上など、観光動向に大きな変動を生じており、これまでの交通量調査では測ることは難しい。
宇治市観光振興計画のアクションプランに基づき、市役所駐車場の開放等の臨時駐車場の開設や、道路の迂回・誘導の案内設置等の事業により、具体的な事業効果発現を図ることとする。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	・JR奈良線高速化・複線化事業、宇治橋西詰交差点の暫定供用、歴史公園の開設、新型コロナウイルス感染症の影響等、計画策定時と状況が変化したため、観光振興計画のアクションプランの中で、公共交通機関を含めた観光交通対策を検討する必要がある。 ・公共交通機関の動向を評価事項に加えることから、渋滞している自動車交通が宇治の歴史的風致の風情を損ねているとする評価軸から外れるため、本計画での進行管理から観光振興計画の進行管理で推移を評価する。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況
空き町家の活用検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度も、平成28年度、令和元年度同様に実施した「中宇治地区に残る伝統的木造家屋の空き家調査」の再調査を行い、近年の町家の空き家及び滅失の状況を調べた。また、平成30年度末に策定した「宇治市空き家等対策計画」に基づき、空き家の利活用施策として実施している「空き家の再生・利活用コンペ」の募集を令和2年1月15日から令和2年6月15日まで行い、無料相談や空き家等に関する出前講座の募集も呼びかけた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市内では空き町家を含め空き家が増加しつつあり、その中には適正に管理されず、地域の生活環境の悪化につながっているものも見受けられる。 そのような状況を踏まえ、平成30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。 既に実施している景観形成助成金制度では、空き町家の利活用の促進へと繋げることを引き続き検討していく。

状況を示す写真や資料等

	空き家軒数（軒）	空き家率（%）	滅失軒数（軒）	滅失増数（軒）	滅失率（%）
H25	33	11.04	25		7.72
H28	29	10.43	46	21	14.20
R1	14	5.11	50	4	15.43
R2	18	6.74	57	7	17.59
R3	21	7.98	61	4	18.83
R4	28	10.73	63	2	19.44

【調査軒数】 324軒

調査対象　：　平成 21 年におこなった中宇治地区における町並調査で建築後概ね 50 年以上経過している木造建物と判断されたもの
調査件数 324 軒には居住用住宅だけでなく倉庫等の建物も含まれる

この 10 年で約 2 割の滅失があった。
空き家から滅失されたものが 16 軒ほどあり、建替えされた以外にガレージとして活用されているところも数か所ある。これは観光地としての有効な土地活用といえるのかもしれない。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況
観光周遊道路の整備検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成28年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度には、来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保するため、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化についての検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【位置図】

無電柱化に取り組むことで
伝統的な沿道景観との調和や道路景観の
改善を図る。

【現在】（平成30年1月）

【整備後イメージ】

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の修理（整備を含む）	□実施済 ■実施中 □未着手

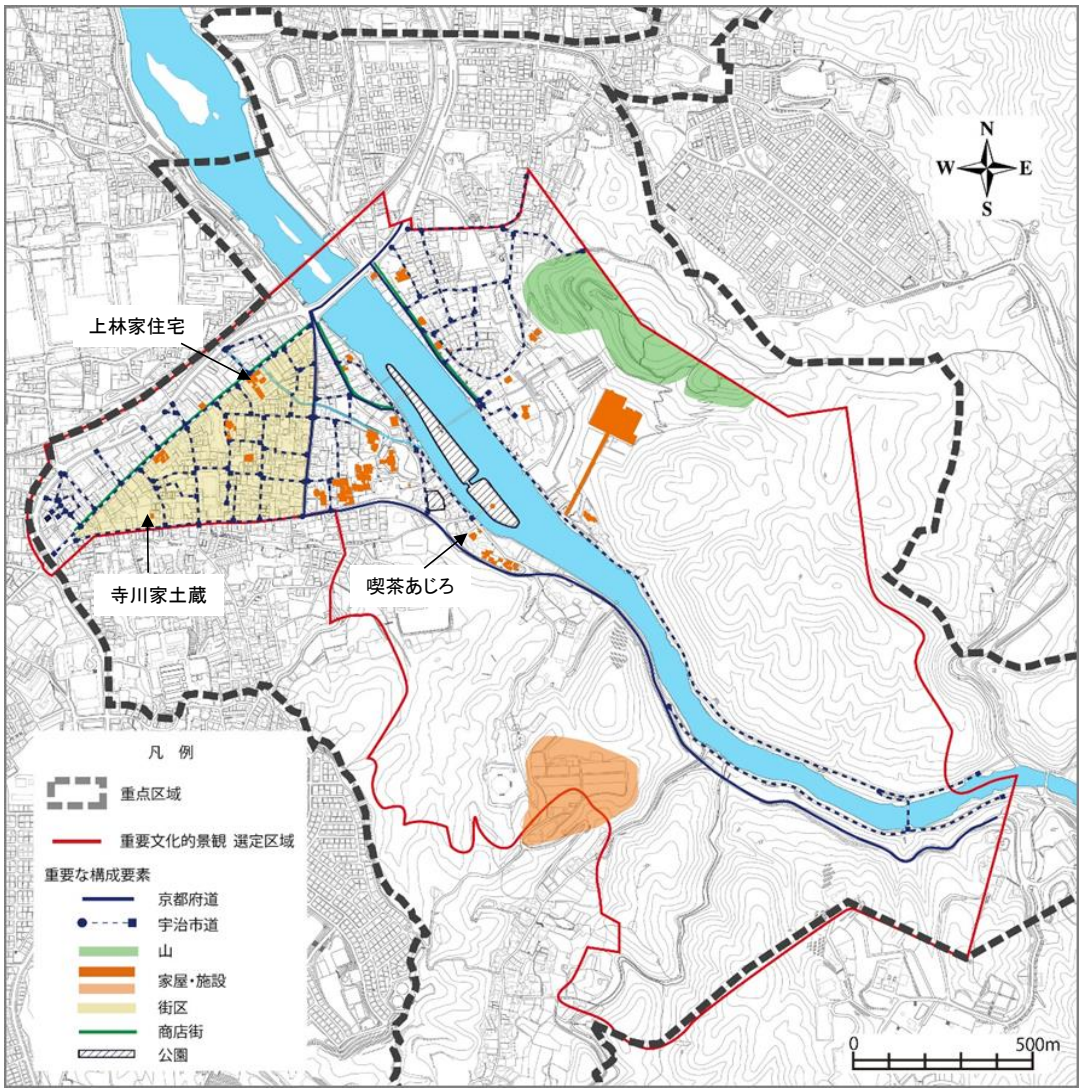
計画に記載している内容	（1）国宝・重要文化財建造物 宇治上神社本殿・拝殿（国宝）は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。 （2）重要文化的景観 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

（1）国宝・重要文化財建造物
国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。令和4年度は、防災設備の保守点検等の維持管理を行っている。
（2）重要文化的景観
3件の景観重要構成要素の届出建物修理修景事業を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要文化的景観の補助制度が平成28年度に変更となり、補助金に市の負担が入ることとなったため、市の予算によって事業量が制限される。重要構成要素の家屋は、多くが個人所有であるため、事業計画から事業実施まで綿密にコントロールする必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観　修理箇所位置図

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－２

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の防災	□実施済 ■実施中 □未着手

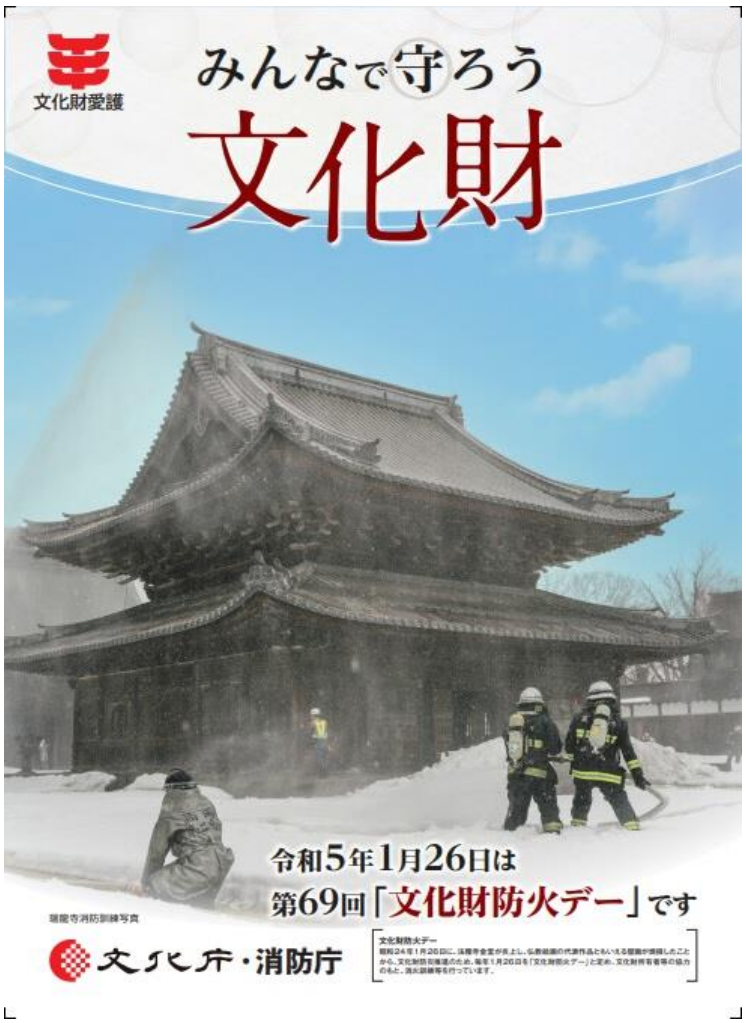
計画に記載している内容	平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財まもり隊は、恵心院と自主消防隊を持つ平等院以外の指定建造物に対して結成されている。
令和4年度の文化財防火デーは、重要文化財松殿山荘で防火懇談会を開催し、各文化財の所有者、管理者が出席した。消防訓練は天候不良のため実施しなかった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財所有者と密に連絡を取る体制については、今後も引き続き維持していく。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－３
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

・春の庵寺山古墳の一般公開　　令和４年　５月２１日（土）　１０：００～１５：００　　約９０人
・秋の庵寺山古墳の一般公開　　令和４年１１月１２日（土）　１０：００～１５：００　　約９０人

令和４年度の庵寺山古墳の一般公開では、例年より多くの見学者が訪れた。小中学生の文化財見学会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施しなかった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	庵寺山古墳の公開については、参加者の安全対策に課題があり、階段、柵などの修繕が必要である。

状況を示す写真や資料等

庵寺山古墳の春の一般公開
（令和4年5月）

庵寺山古墳の秋の一般公開
（令和4年11月）

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④－4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取扱い	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

開発工事に伴い、記録保存を目的とした宇治市街遺跡の発掘調査1件（74.1㎡）を実施した。柱や土坑、井戸跡を確認し、土師器、須恵器等が出土した。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

宇治市街遺跡
発掘調査の状況

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。

また、例年開催される「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等は新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかった。

【定量的評価】

「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数　：　15件（247．6a）
「手摘み茶推進対策」の実施件数　：　30件
「宇治茶まつり」の参加者数　：　関係者のみで実施
「市民素人茶香服大会」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた
「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

関係者のみで執り行われた宇治茶まつり
（名水汲み上げの儀）

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和4年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
街を駆ける　清めの儀式	令和4年6月9日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

コロナ禍により3年ぶりに馳せ馬や大幣の投げ込みが行われた。開催を望む声が多くあった中、久しぶりに活気のある姿を取り戻した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

（5）　2022年（令和4年）6月9日（木曜日）

街を駆ける 清めの儀式

県神社の大幣神事　御旅所前で馳せ馬も

「大幣（たいへい）さん」の名で地元民から親しまれている、県（あがた）神社の「大幣神事」がえのまつり）として伝わる神事。8日、中宇治地域で繰り広げられた。コロナ禍により3年ぶりの開催。無病息災を願って大勢の見物客が詰め掛けた。

厄病退散と豊作を祈願する平安時代からの道饗祭（みちあ

境内の大幣殿で執り行われた祭事では、田鍬到（宮司による祝詞奏上の後、神社筆頭総代で大幣座の座頭を務めた入江宗輔さんが「開催を望む声を多くいただき、市民から愛されている祭りだとしみじみ感じた」と感謝の言葉を述べた。

「大幣」に街の厄を封じ込めていく。午前10時、県神社

宇治橋西詰でも神事を行った後、のぼり旗、榊（さかき）を先導に、大幣座のお供衆や駒馬神人が宇治神社御旅所前へ

宇治橋通り、本町通りを練り歩きながら、敷いの儀式に用いる

幣差たちが宇治川へ大幣を投げ入れた

宇治老番から一ノ坂を駆け抜けた神馬

宇治橋西詰で、無病息災を祈る儀式を執り行った

大幣殿での神事の後、参加者に供物が振る舞われた

宇治神社御旅所前へ封じ込めた大幣を引きずりながら、12人の若衆が県通りを疾走した。【写真上】

「ワッショイ」の掛け声をあげ一気に通り

を駆け抜けると、宇治橋の欄干から大幣を川に投げ入れた。

向かった。馬馳せの儀では、大勢の市民が見守る中、一ノ坂まで

の府道を人馬が往復し、沿道から拍手が送られた。

再び県神社に戻った後、街中の厄病を

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和4年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
かがり火揺れる　夏の涼	令和4年7月2日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止していた貸切船も再開し、宇治の夏の風物詩が以前のにぎわいを取り戻してくれることが期待できる。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

第20611号　（第三種郵便物認可）

かがり火揺れる 夏の涼

「宇治川の鵜飼」9月30日まで実施

涼感あふれる夏の風物詩「宇治川の鵜飼」が1日から始まった。川面にかがり火が揺れるなか、待ちかねた市民や観光客が伝統行事を楽しんだ。

宇治川鵜飼の歴史は古く、平安時代の「蜻蛉（かげろう）日記」に記述があるという。その後衰退したが、1926（大正15）年に復活し、宇治川の蛍と共に人気を集めた。

この日の午後6時、観光センター1階で安全祈願の神事が執り行われた後、鵜飼がスタート。鵜匠の沢木万理子さんと江崎洋子さんが舟に乗り込み、追い綱を握りながら巧みに鵜を操った。

開幕した宇治川鵜飼。流れる水の音が夏の涼を感じさせる

「宇治川の鵜飼」は9月30日（金）まで延べ92日間で開催する。宇治市観光協会の中村藤吉会長は「今年はコロナ前同様に貸切船を再開した。暑い中だが、ぜひとも川の涼しさと幽玄な世界を体験してほしい」と期待した。

宇治川鵜飼の観覧船料金は、貸切船が10人乗り2万7500円、15人乗り4万1250円、20人乗り5万5000円。1人や少人数でも乗れる乗合船は大人1人2000円、小学生1000円（価格は税込み）。

貸切船の予約受付は宇治川観光通船（TEL0774-21-2328、FAX0774-21-2447）へ。

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和4年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
名勝『宇治山』を保存・活用　来年度に計画案作成へ	令和4年12月23日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

名勝『宇治山』を保存・活用
来年度に計画案作成へ
宇治市検討委 宇治川左岸も含め議論

宇治市は国の名勝『宇治山』の保存活用検討委員会を立ち上げ、第1回会合を22日に市役所で開いた。名勝『宇治山』の指定範囲は、宇治川の右岸（宇治上神社側）のみだが、左岸（平等院側）も含めて議論する方針。今後、現地調査などを経て、来年度中に保存活用計画案を作成し、松村淳子市長に提言する。

2015年3月、京阪宇治駅を出て真正面に見える山裾（市街化区域）において、合法的な宅地開発構想が判明した。市では「山紫水明の宇治川と起伏に富んだ山並みが織りなす宇治の景観美は、万葉の時代から人々に称賛され、現在も宇治のランドマーク」と開発行為ストップに向けて始動。文化財保護法に基づく『名勝』の指定（18年10月）を受けた後、開発業者の所有する土地を買収した。

名勝『宇治山』の指定範囲は、宇治橋東南岸に連なる仏徳山（通称・大吉山）を中心とする低平な丘陵群の約25万7100平方㍍。朝日山や宇治二子山古墳をはじめ、宇治上神社、宇治神社、興聖寺、恵心院などの宇治川右岸の広い地域となっている。

18年に文化財保護法が改正され、文化財の保存だけでなく、積極的に活用していくための枠組みが示されたこともあり、市は名勝宇治山保存活用検討委員会を設置。22日の初会合で、松村市長が委員委嘱状を交付した。

その上で、松村市長は「宇治は古来より景勝地として愛され、宇治橋から望む上流の景観は、これまで保全されてきた。宇治川右岸の宇治山は、古くから数多くの秀歌が読まれ、江戸時代以降、名所として親しまれてきた。また、宇治川から連なる丘陵の山容は古刹や河畔の風情と相まって、大変価値が高い。しっかりと保ちながら、次の時代につげていくことが課せられた使命。宇治橋から望む川上の景観を、右岸から左岸にかけた一体となった景観として考えていただければ」と求めた。

委員長に選出された増渕徹氏（京都橘大学教授）は「指定範囲は、宇治川の片側に寄っているので、市長挨拶を踏まえ、両岸を念頭に議論する」と挨拶。増渕委員長は職務代理者として、髙原光氏（京都府立大学名誉教授）を指名した。

検討委では今後、現地視察などを行い、本質的価値の検討などを経て、活用の方向性と整備方針などを議論。

検討委員会冒頭、挨拶する松村市長

評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和4年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史まちづくり計画認定	令和5年3月30日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり計画認定

宇治市長 宇治川周遊性向上に意欲

宇治市の松村淳子市長は29日、第2期歴史的風致維持向上計画（通称・歴史まちづくり計画、2023～32年度）が同日付けで主務3大臣から認定された、と記者懇談会で発表した。

同計画には「お茶と宇治のまち歴史公園」を生かした情報発信事業の展開など27事業を記載。天ケ瀬ダムかわまちづくり計画も含まれ、今後は計画を見直して宇治橋周辺を新たな区域に位置付け、歴史公園を、天ダム周辺区域との回遊性を向上させる拠点とするほか、水上アクティビティが実施できるように乗降場を整備する。

保津川（亀岡市）の転覆事故もあり、松村市長は「水上アクティビティは安全性を考えて取り組みたい。ターゲットは2025年の大阪・関西万博」と話した。

届いたばかりの認定証を示す松村市長

法定協議会等におけるコメント

（様式2）

評価対象年度	令和4年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：宇治市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時：　令和5年1月22日　14：00～15：30

（コメントの概要）

・本ずを作っている人の年齢層はどのくらいなのか、把握に努める必要がある。

・宇治十帖スタンプラリーの参加者数の減少について、デジタル化したことにより参加者のモチベーションが保てていないのではないか。

・大幣神事について、環境の変化に伴い、どのような祭りであるか理解されていないところがある。馬を路上で走らせるということで難色を示されたりしたこともあった。市には今後も協力してほしい。

・今現在、かわまちづくり計画が動いている。天ケ瀬ダム周辺と、宇治橋周辺とをどのように融合していけるか、どのように進めていくことができるか。歴史的なものとして進めてもらえればと思う。第2期計画ではかわまちづくりのために重点区域も拡大している。かわまちづくりを取り込むため、今後も連携していきたい。

・今でも茶園や茶農家に対する支援は手厚くしてもらっているが、やはり茶園は減少してきているのが現状だ。原因は都市化や高齢化にある。今茶業を担っているのは50代～60代が多い。20代～30代が継承していけるような支援をしてもらいたい。

・文化財保護について世代が後退し後継者が育ってきていないという現状がある。文化財保護の体制作りについても議論をしていただきたい。

・個別計画がたくさんあり、大変ではあると思うが、文化財保存活用地域計画の策定に取り組むべきである。

・京都府も無電柱化事業をやっていきたいので協力したい。

・宇治茶の生産と観光という分野が、「茶づな」の完成により近づいたが、まだ遠い感がある。歴まち計画でつなげることができればと感じる。

（今後の対応方針）

第1期計画最終年度、ハード整備のほとんどが完了し、歴史まちづくりの基礎となる施設が完成した。また、ソフト面についても、第2期計画につながる施策が行われている。

今後は、歴史・文化や宇治茶の情報発信、宇治茶や地域の伝統文化の継承、未指定文化財等の保存・活用、まちなみ景観の保全、観光振興などの課題についてソフト面の施策を充実させることで対応していきたい。